

2018年12月期 第4四半期・通期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2019年2月8日

BIG IDEAS
FOR EVERY SPACE

株主価値の最大化に向けた長期財務目標

長期財務目標*1
(2016年を始点とする)

売上高総利益率向上に向けた取組み

売上成長

年間成長率: **1桁台後半%**

収益性向上

調整後GM*2: **44%*4 → 50%**

調整後OM*3: **12%*4 → 20%以上**

売上成長

生産効率の最適化

製品ミックスの改善

インターシルの統合



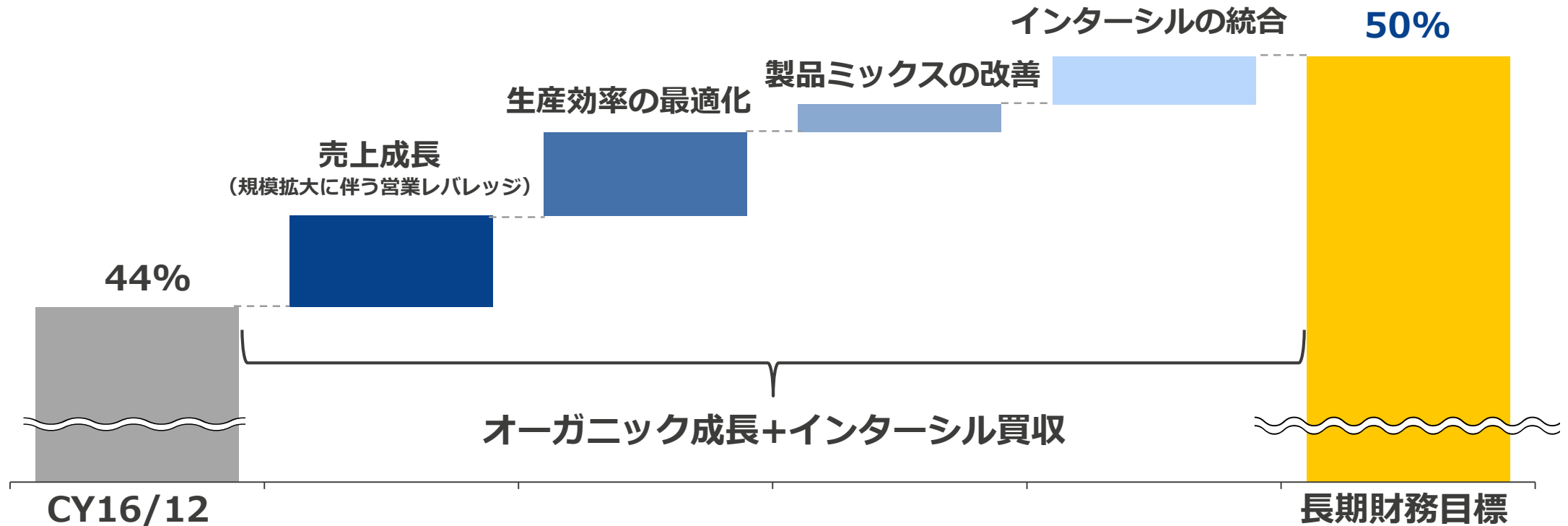
更なるM&A

*1: 長期財務目標はのれんや無形固定資産の償却、株式報酬などの非支出項目及び一過性費用、買収関連費用ならびにPPAの影響を除くNon-GAAP調整を反映。GAAP項目からの調整の詳細はGAAP/NON-GAAPの調整項目 (p6-8) を参照

*2: 調整後売上高総利益率 *3: 調整後営業利益率 *4: 2016年暦年ベースの業績は2016年3月期第4四半期 (3ヶ月) と2016年12月期通期 (9ヶ月) の業績を合算して算出

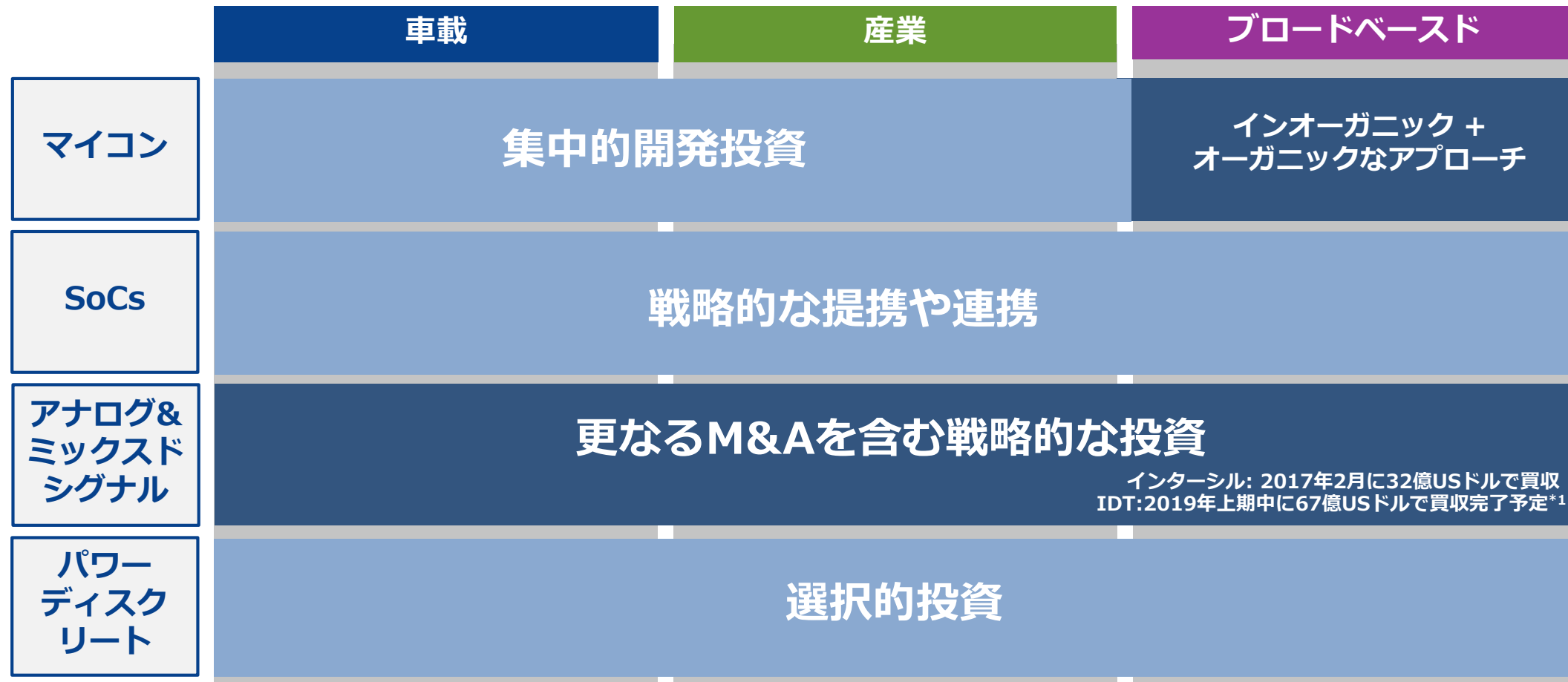
売上高総利益率改善に向けた取組み

調整後売上高総利益率*1
(イメージ)



*1: Non-GAAPベース。調整後売上高総利益率は作り貯め影響、インターシル社買収に伴うPPA（取得原価の配分）影響、株式報酬費用の影響を除外して算出。
GAAP項目からの調整の詳細はGAAP/NON-GAAPの調整項目（p6-8）を参照

非連続成長を活用したバランスの取れた事業戦略



*1:買収完了は、IDT社の株主総会における合併の承認、および関係当事国において必要となる当局の承認の取得を前提としており、2019年上期中を予定しています。

NON-GAAPベース開示情報

経営者が意思決定する際に使用する指標（以下Non-GAAPベース）を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

GAAPとNon-GAAP*1間の調整項目 (FY17/12~)

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA（取得原価の配分）の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。
- 前連結会計年度末において、2017年2月24日付で完了したインターシル社との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

(億円)	2017年12月期				2018年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高 (PPA調整後)	1,772	1,973	1,955	2,102	1,859	2,035	1,802	1,877
PPA影響(売上高)	+4	+8	-0	+0	-	-	-	-
売上高 (Non-GAAP)	1,776	1,981	1,955	2,102	1,859	2,035	1,802	1,877
売上高総利益 (GAAP/PPA後)	777	819	930	1,002	888	919	795	763
PPA影響 (売上高/COGS*2)	+31	+85	+3	+4	+3	+3	+3	+3
株式報酬費用(COGS)	+0	+0	+0	+2	+1	+1	+2	+2
売上高総利益 (Non-GAAP)	808	905	933	1,008	893	924	800	768
売上高総利益率(Non-GAAP) (%)	45.5%	45.7%	47.7%	47.9%	48.0%	45.4%	44.4%	40.9%

*1:売上原価

GAAPとNon-GAAP*1間の調整項目 (FY17/12~)

(億円)	2017年12月期				2018年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業利益 (GAAP/PPA後)	221	94	250	219	206	230	131	101
PPA影響*2 (売上高/COGS*3)	+31	+85	+3	+4	+3	+3	+3	+3
PPA影響 (R&D*4, SG&A*5) 固定資産償却の増加等	+1	+2	+2	+2	+1	+1	+1	+1
株式報酬費用 (COGS)	+0	+0	+0	+2	+1	+1	+2	+2
のれんの償却額 (SG&A)	+18	+52	+52	+53	+51	+52	+52	+53
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+5	+4	+4	+2	+2	+2	+2	+2
インターシル社買収関連費用 (R&D)	-	-	-	+1	+0	+1	+1	+1
無形固定資産の償却額 (SG&A)	+15	+44	+44	+45	+41	+37	+38	+39
株式報酬費用 (R&D)	+0	+3	+3	+5	+2	+5	+4	+5
株式報酬費用 (SG&A)	+0	+3	+3	+9	+6	+6	+5	+5
株式売出し関連費用 (SG&A) ,その他	-	+2	+0	-	+0	+2	+4	+1
営業利益 (Non-GAAP)	291	290	359	341	314	339	241	212
営業利益率(Non-GAAP) (%)	16.4%	14.6%	18.4%	16.2%	16.9%	16.7%	13.4%	11.3%

*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループは Non-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。 *2 : PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。 *3 : 売上原価 *4 : 研究開発費 *5 : 販売費及び一般管理費

GAAPとNon-GAAP*1間の調整項目 (FY17/12~)

(億円)	2017年12月期				2018年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
親会社株主に帰属する四半期純利益 (GAAP/PPA後)	172	191	223	186	233	261	76	-24
営業利益段階までの調整項目	+70	+196	+109	+122	+108	+109	+111	+111
経常利益調整項目(PPA影響*2)	-	-	-	+1	-	-	-	-
純利益調整項目(PPA影響)	-5	-14	-6	-5	-	-	-	-
純利益調整項目 (インターシル社買収関連影響・ 一過性費用影響等)	-	-	-	-	-82	-67	-	+87
親会社株主に帰属する四半期純利益 (Non-GAAP)	236	373	327	303	259	304	186	174

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP)から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。もしくは調整しております。

*2: PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。

2018年12月期 第4四半期決算概要

(NON-GAAPベース*1)

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2017年12月期		2018年12月期								
	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月) 予想	第4四半期 (10-12月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比 (10/31時点)	通期 (1-12月) 実績	前年 同期比	予想比 (10/31時点)
売上高	2,102	7,815	1,802	1,850	1,877	-10.7%	+4.2%	+1.5%	7,574	-3.1%	+0.4%
半導体売上高	2,064	7,656	1,756	1,811	1,838	-11.0%	+4.7%	+1.5%	7,405	-3.3%	+0.4%
売上高総利益率	47.9%	46.7%	44.4%	40.0%	40.9%	-7.0pts	-3.5pts	+0.9pt	44.7%	-2.1pts	+0.2pt
営業利益(率)	341 (16.2%)	1,281 (16.5%)	241 (13.4%)	135 (7.3%)	212 (11.3%)	-129 (-4.9pts)	-30 (-2.1pts)	+77 (+4.0pts)	1,106 (14.6%)	-175 (-1.8pts)	+77 (+1.0pt)
親会社株主に帰属 する純利益	303	1,239	186	125	174	-129	-12	+49	923	-315	+49
EBITDA*2	545	2,028	468	366	439	-106	-29	+73	2,006	-22	+73
1米ドル=	113円	112円	111円	112円	113円	±0円	2円 円安	1円 円安	110円	2円 円高	1円 円安
1ユーロ=	133円	127円	129円	129円	130円	3円 円高	1円 円安	1円 円安	131円	4円 円安	1円 円安

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

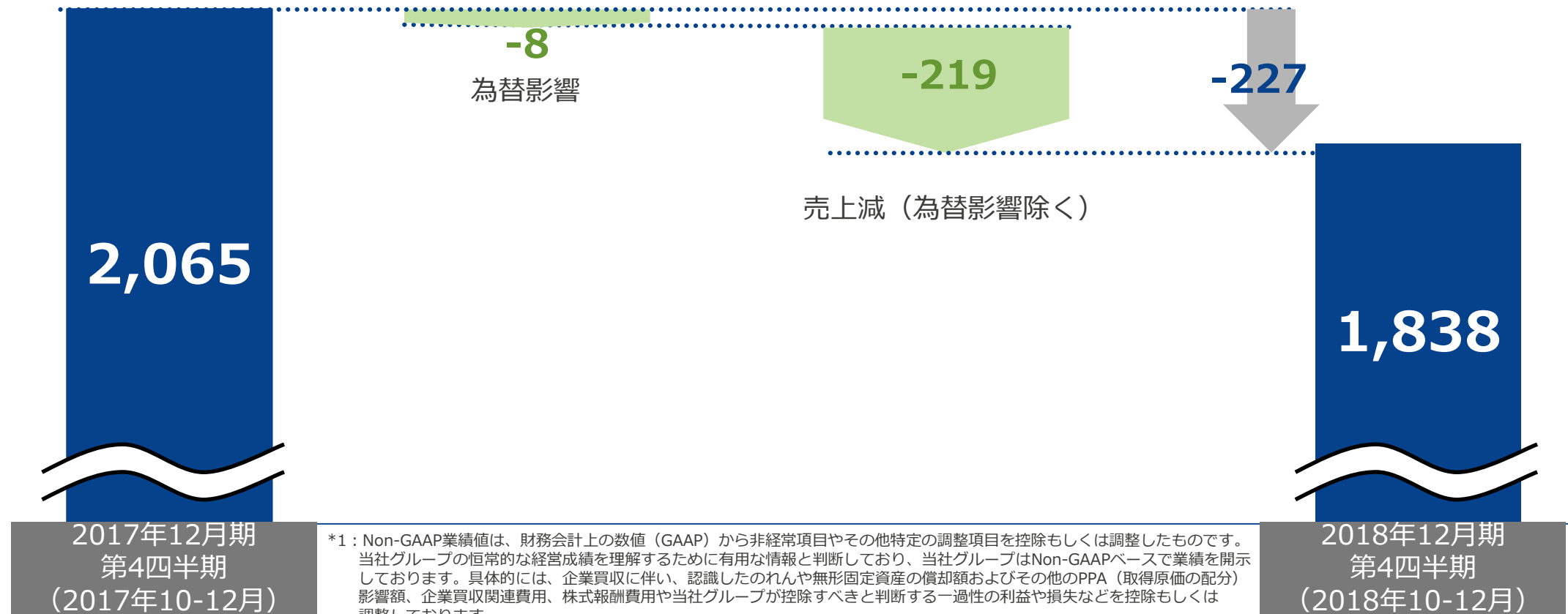
*2: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額

2018年12月期 第4四半期 半導体売上高

(NON-GAAPベース*1)

YoY **-227億円 (-11.0%)**

(億円)

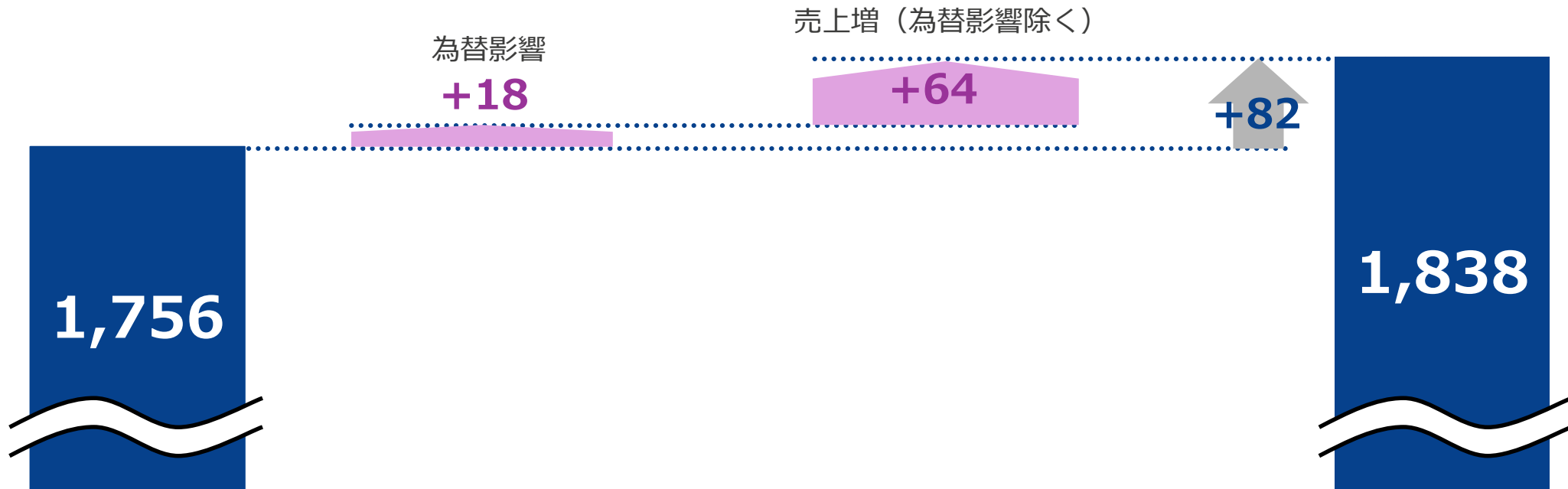


2018年12月期 第4四半期 半導体売上高

(NON-GAAPベース*1)

QoQ +82億円 (+4.7%)

(億円)



2018年12月期
第3四半期
(2018年7-9月)

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他の特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

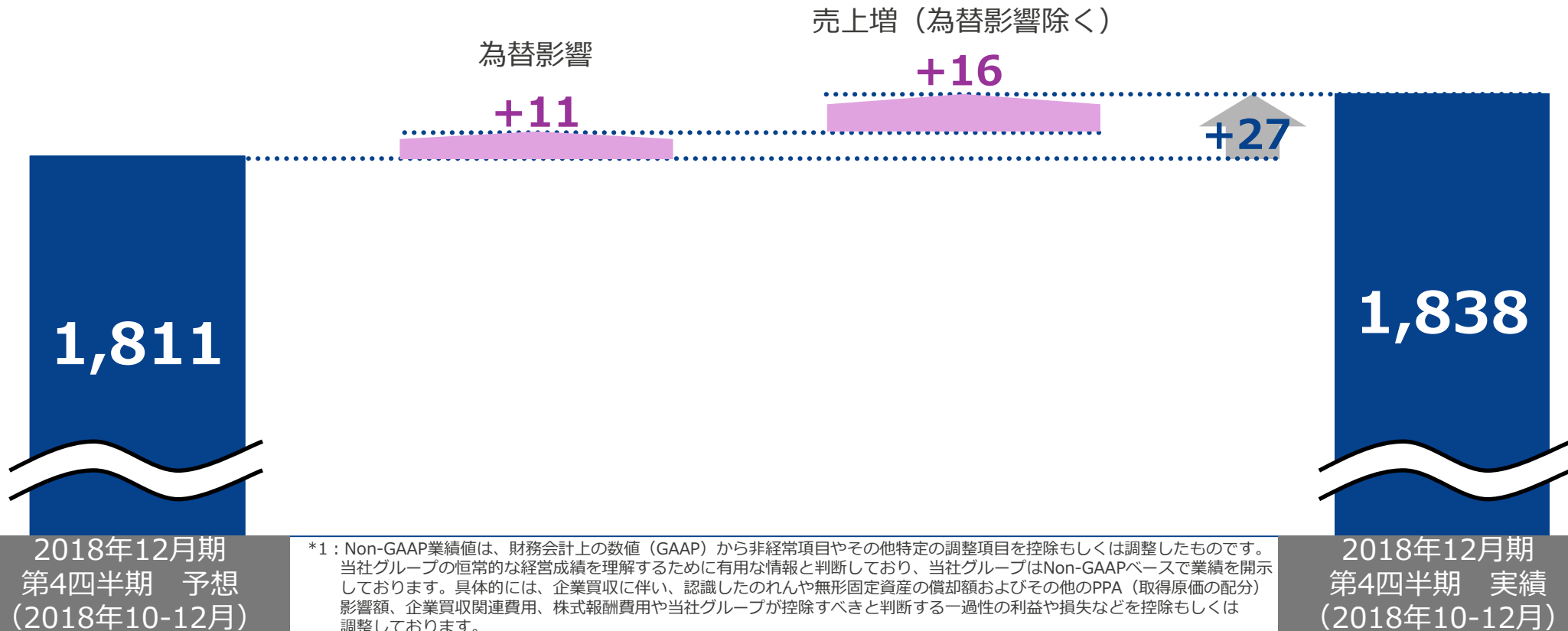
2018年12月期
第4四半期
(2018年10-12月)

2018年12月期 第4四半期 半導体売上高

(NON-GAAPベース*1)

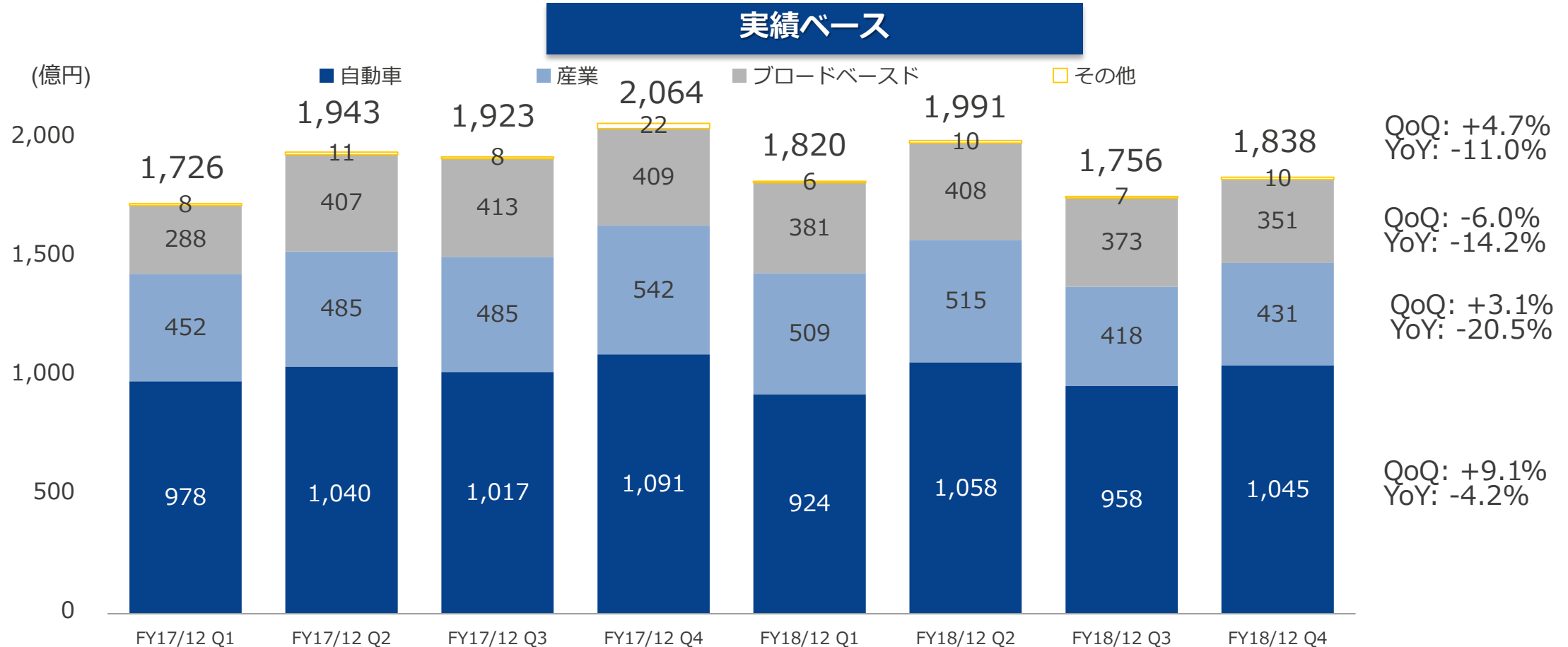
予想比 +27億円 (+1.5%)

(億円)



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

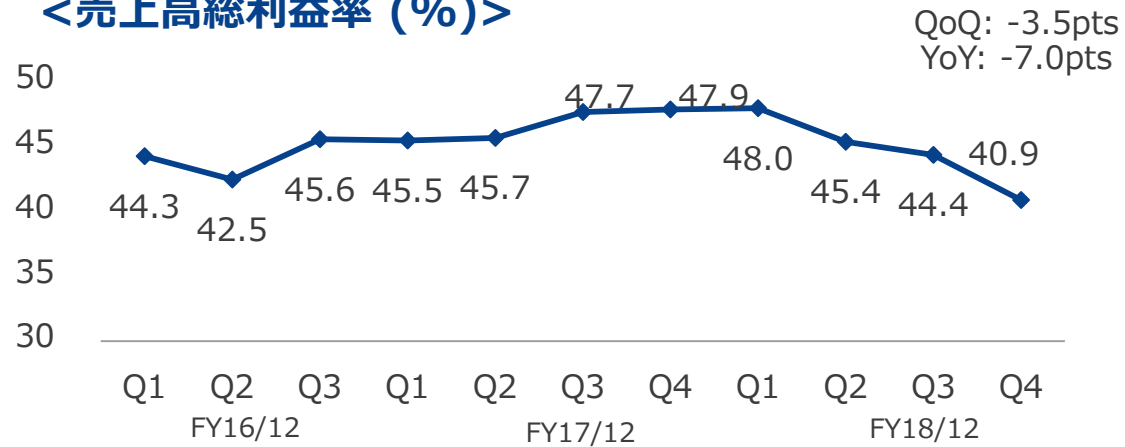
半導体売上高 四半期推移 (NON-GAAPベース*1)



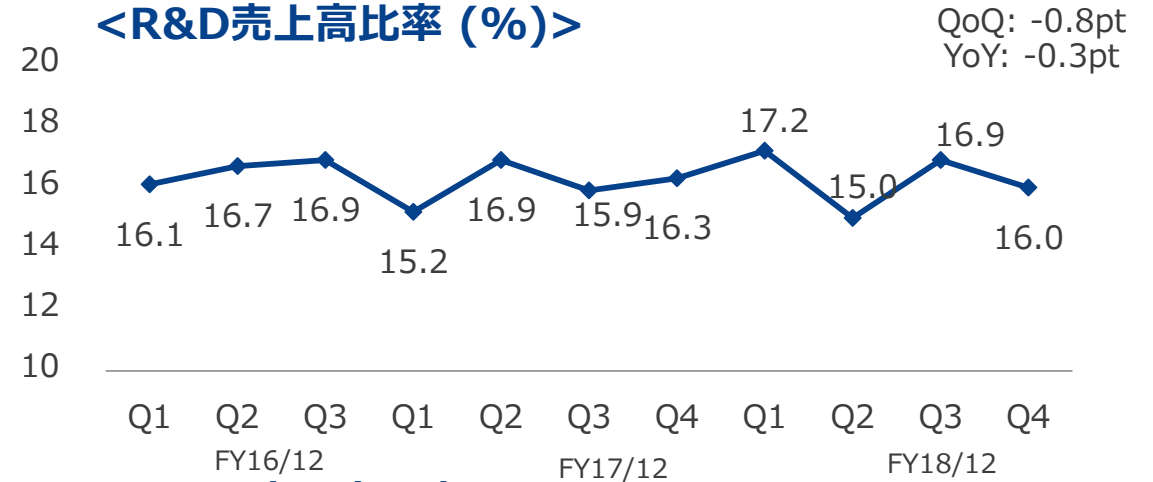
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

売上高総利益率・営業利益率・OPEX推移 (NON-GAAPベース*1)

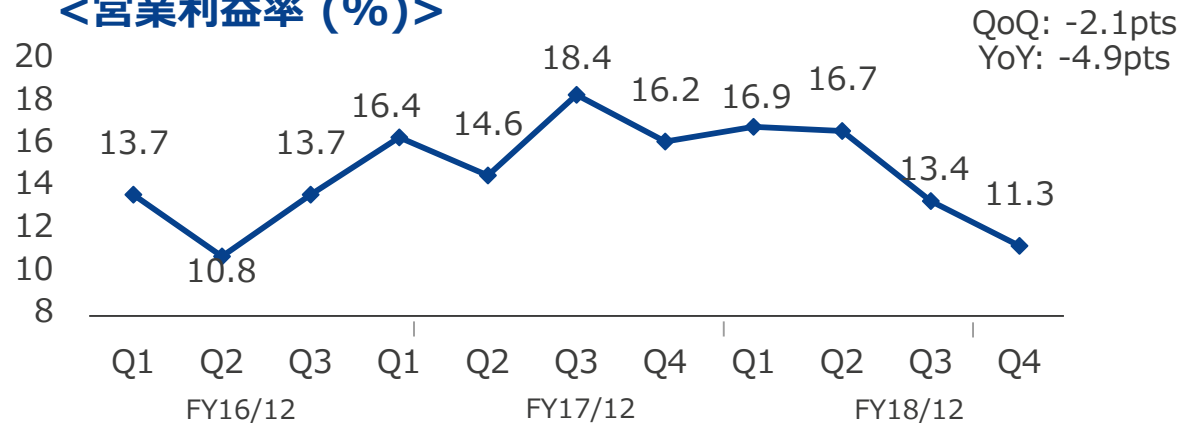
<売上高総利益率 (%)>



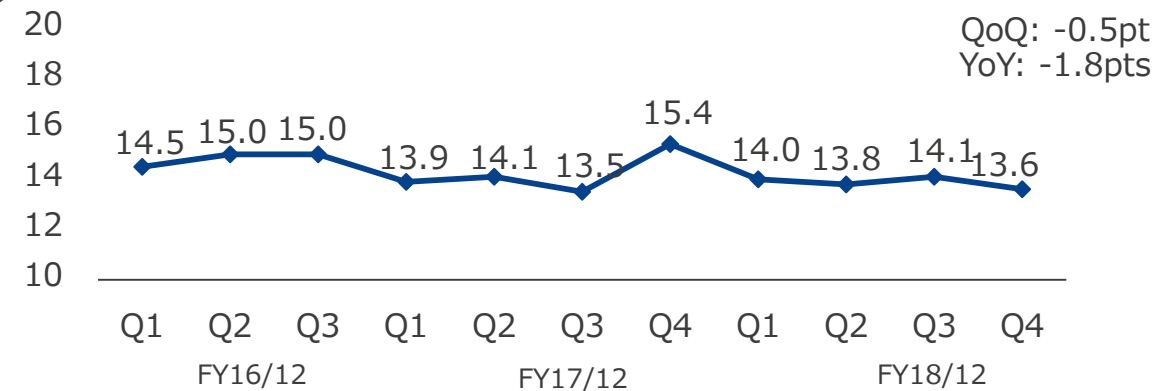
<R&D売上高比率 (%)>



<営業利益率 (%)>



<SG&A売上高比率 (%)>



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

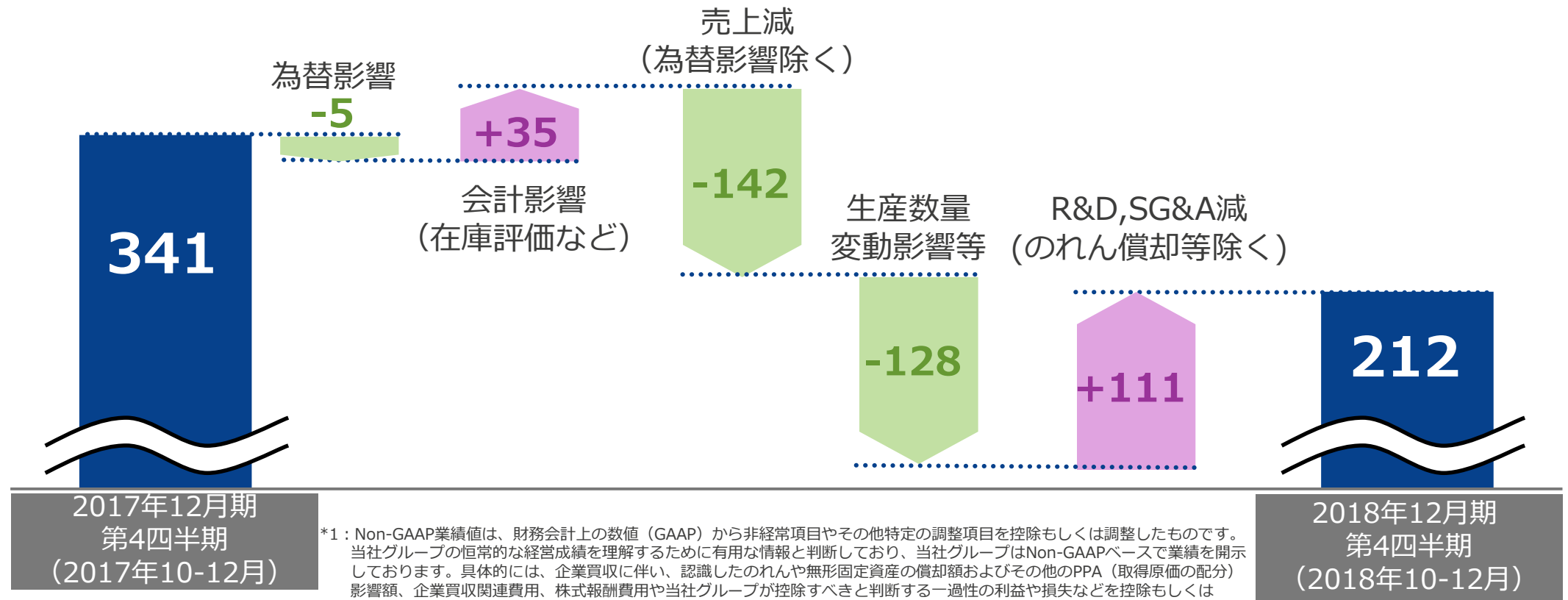
2018年12月期 第4四半期 営業利益

(NON-GAAPベース*1)

YoY

-129億円

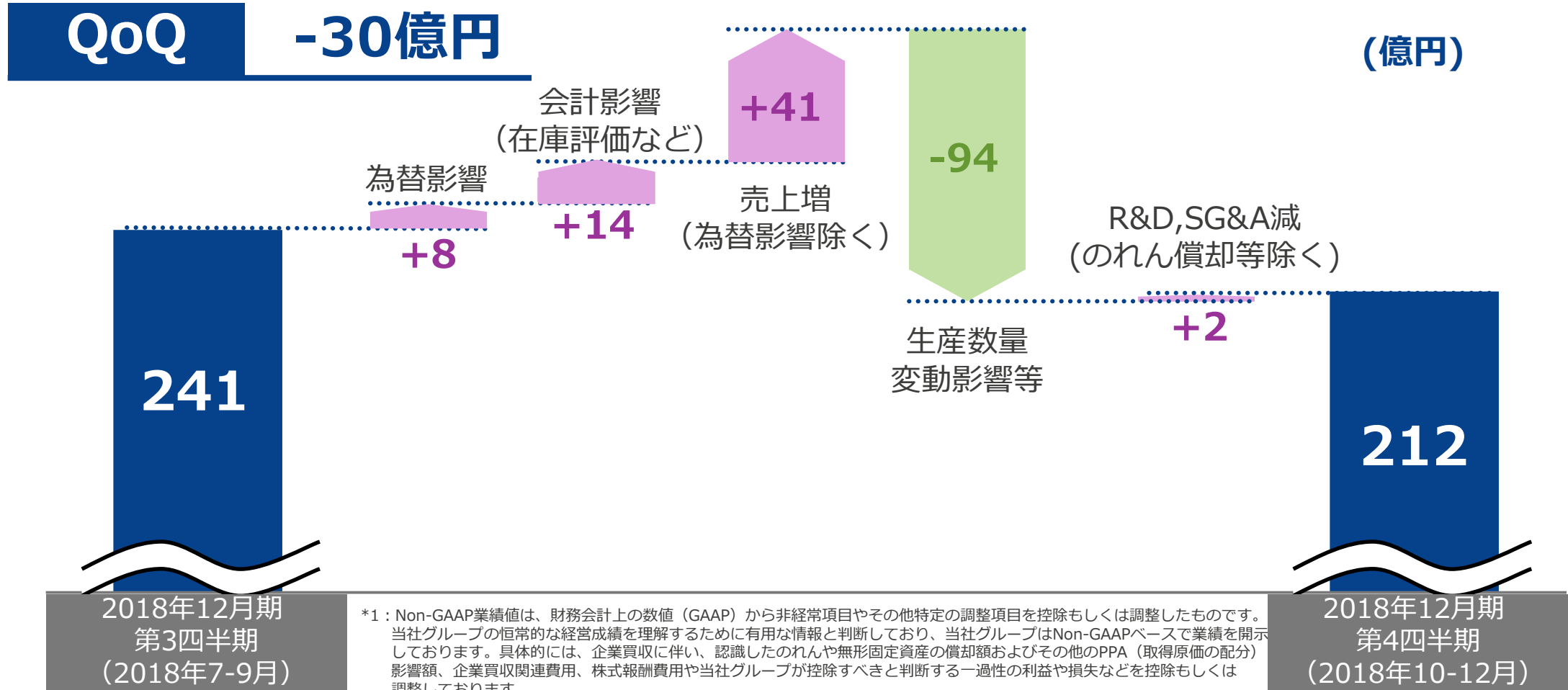
(億円)



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

2018年12月期 第4四半期 営業利益

(NON-GAAPベース*1)



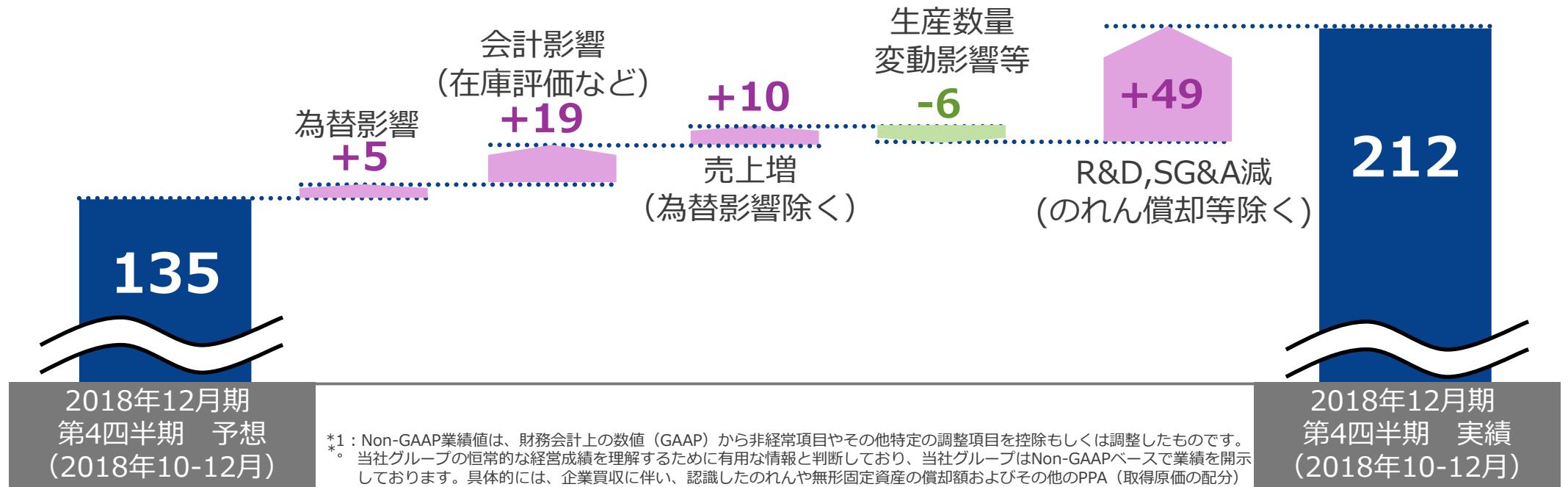
*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

2018年12月期 第4四半期 営業利益

(NON-GAAPベース*1)

予想比 +77億円

(億円)



IFRS適用と業績予想の方法・開示項目の変更

- 今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用することを決定しております。
- 2019年12月第1四半期の業績予想については、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解を促進する有用な情報を提供するために、財務会計上の数値（GAAP）から企業買収などに関係した非経常項目やその他特定の調整項目を一過性の利益や損失として控除もしくは調整した「Non-GAAPベース」にて売上高・半導体売上高・売上高総利益率・売上高営業利益率を開示することといたしました。なお、売上高総利益率および売上高営業利益率は、売上高予想の中間値により算出しております。

2019年12月期 第1四半期 予想

(NON-GAAPベース*1)

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

	2019年12月期 第1四半期予想 (IFRS)	Non-GAAPベースにおける IFRSと日本会計基準上の 主な差異項目	2019年12月期 第1四半期予想 (日本会計基準)	2018年12月期 第1四半期 (日本会計基準)	2018年12月期 第4四半期 (日本会計基準)	前年同期比	前四半期比
売上高 (億円)	1,495 ~1,575	販売奨励金につき、売上高から控除（販売費および一般管理費での計上から変更）	1,497 ~1,577	1,859	1,877	-19.5% ~-15.2%	-20.3% ~-16.0%
半導体 売上高 (億円)	1,460 ~1,540	同上	1,462 ~1,542	1,820	1,838	-19.7% ~-15.3%	-20.5% ~-16.1%
売上高 総利益率	39%	退職給付費用につき、年金資産の適用する期待収益率の差異	40%	48.0%	40.9%	-8.0pts	-0.9pt
売上高 営業利益率	4.5%	上記の販売奨励金の処理並びに退職給付費用の差異によるもの	5.5%	16.9%	11.3%	-11.4pts	-5.8pts
1米ドル=	109		109	108	113	1円 円安	4円 円高
1ユーロ=	124		124	133	130	9円 円高	6円 円高

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで予想値を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。また、IFRS移行後は、上記の定義より、のれんの償却額を除外しております。

GAAPベース開示情報

本パートでは、主にGAAP準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

GAAPとNon-GAAP間のこれまでの調整項目 (～FY16/12)

(億円)	2015年3月期				2016年3月期				2016年12月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
半導体売上高 (GAAP) ①	2,012	1,996	1,774	1,751	1,745	1,770	1,609	1,632	1,475	1,483	1,614
RSP*1②	-176	-210	-	-	-	-	-	-	-	-	-
半導体売上高 (Non-GAAP*2) ①+②	1,836	1,786	1,774	1,751	1,745	1,770	1,609	1,632	1,475	1,483	1,614
売上高総利益 (GAAP) ①	805	816	786	781	798	855	718	685	651	629	747
RSP②	-60	-64	-	-	-	-	-	-	-	-	-
作り貯め*3③	-26	-17	-17	-14	-4	-23	-23	+21	+23	+20	+12
売上高総利益 (Non-GAAP) ①+②+③	719	735	769	767	794	832	695	706	674	649	759
営業利益 (GAAP) ①	270	235	295	244	324	307	250	157	186	146	216
RSP②	-39	-40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
作り貯め③	-26	-17	-17	-14	-4	-23	-23	+21	+23	+20	+12
営業利益 (Non-GAAP) ①+②+③	205	179	278	230	320	284	227	178	209	166	228
R&D (RSP)	18	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SG&A (RSP)	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*1: 2014年10月1日に譲渡したルネサスエスピードライバの売上高および営業損益

*2: 非経常項目その他特定の調整項目を除いた業績。2016年12月期まではRSP(ルネサスエスピードライバ)にかかる売上および損益の影響、LTEモデム事業にかかる損益の影響、作り貯めの損益の影響を控除。

*3: 工場再編に伴う、EOL製品の作り貯めにかかる損益

2018年12月期 第4四半期決算概要

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2017年12月期*1		2018年12月期								
	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月) 予想	第4四半期 (10-12月) 実績	前年 同期比	前四半期比	予想比 (10/31時点)	通期 (1-12月) 実績	前年同期比	予想比 (10/31時点)
売上高	2,102	7,803	1,802	1,850	1,877	-10.7%	+4.2%	+1.5%	7,574	-2.9%	+0.4%
半導体売上高	2,065	7,644	1,756	1,811	1,838	-11.0%	+4.7%	+1.5%	7,405	-3.1%	+0.4%
売上高総利益率	47.7%	45.2%	44.1%	39.7%	40.7%	-7.0pts	-3.5pts	+0.9pt	44.4%	-0.8pt	+0.2pt
営業利益(率)	219 (10.4%)	784 (10.0%)	131 (7.3%)	25 (1.4%)	101 (5.4%)	-117 (-5.0pts)	-30 (-1.9pts)	+76 (+4.0pts)	668 (8.8%)	-116 (-1.2pts)	+76 (+1.0pt)
親会社株主に 帰属する純利益	186	772	76	16	-24	-210	-100	-40	546	-226	-40
EBITDA*2	526	1,871	450	351	424	-102	-27	+73	1,945	+74	+73
1米ドル=	113円	112円	111円	112円	113円	±0円	2円 円安	1円 円安	110円	2円 円高	1円 円安
1ユーロ=	133円	127円	129円	129円	130円	3円 円高	1円 円安	1円 円安	131円	4円 円安	1円 円安

*1: 前連結会計年度末において、2017年2月24日付で完了したインターシル社との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

*2: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額+のれん償却額

バランスシート^{*1}の状況

(億円)	2017年 12月末	2018年 3月末	2018年 6月末	2018年 9月末	2018年 12月末
総資産	10,515	10,162	10,443	10,429	9,678
うち 現金及び現金同等物 ^{*2}	1,395	1,243	1,603	1,845	1,888
うち たな卸資産	1,266	1,388	1,385	1,415	1,180
負債合計	5,396	5,050	4,937	4,761	4,362
うち 有利子負債 ^{*3}	2,295	2,270	2,316	2,290	1,929
株主資本	4,855	5,101	5,368	5,440	5,420
純資産合計	5,119	5,112	5,506	5,668	5,316
D/Eレシオ (グロス) ^{*4}	0.45	0.45	0.43	0.41	0.37
D/Eレシオ (ネット) ^{*5}	0.18	0.20	0.13	0.08	0.01
自己資本 ^{*6} 比率	48.2%	49.8%	52.1%	53.7%	54.1%

*1: 前連結会計年度末において、2017年2月24日付で完了したインターシル社との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

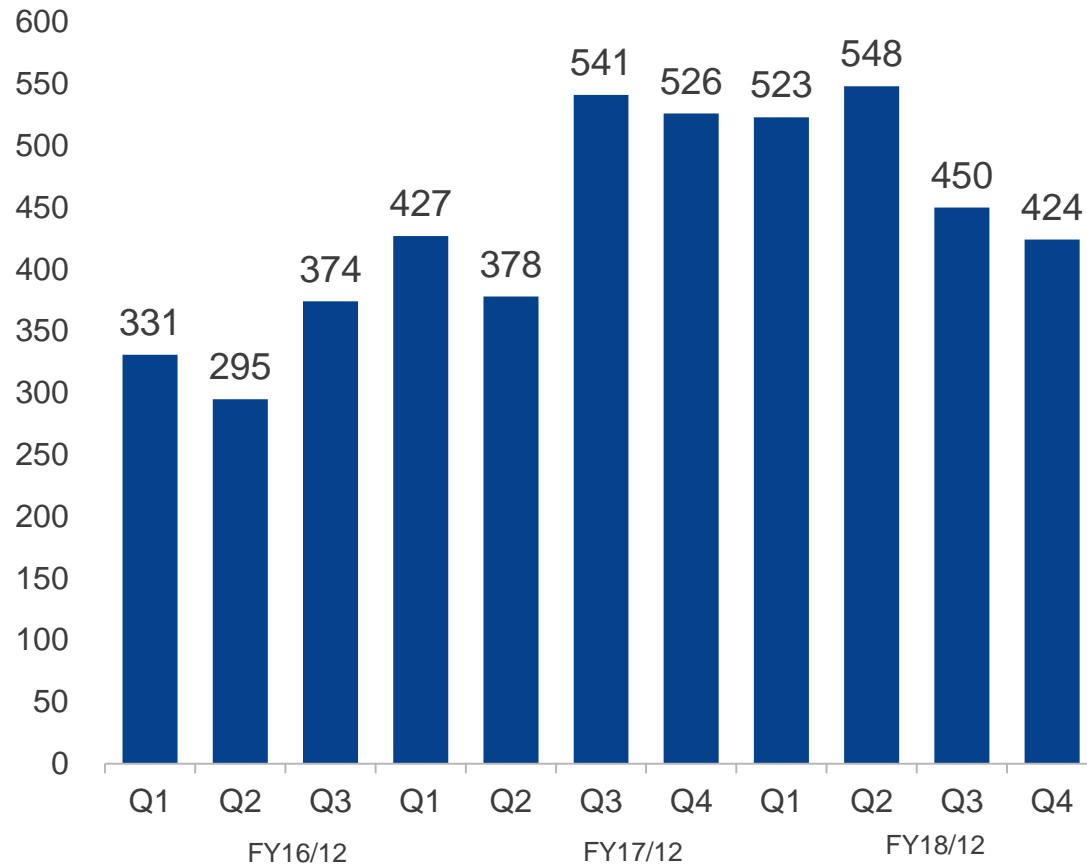
*2: 「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」と「償還期限3ヶ月を超える有価証券」を控除しております。

*3: 「短期借入金」+「1年内返済予定の長期借入金」+「リース債務」+「長期借入金」

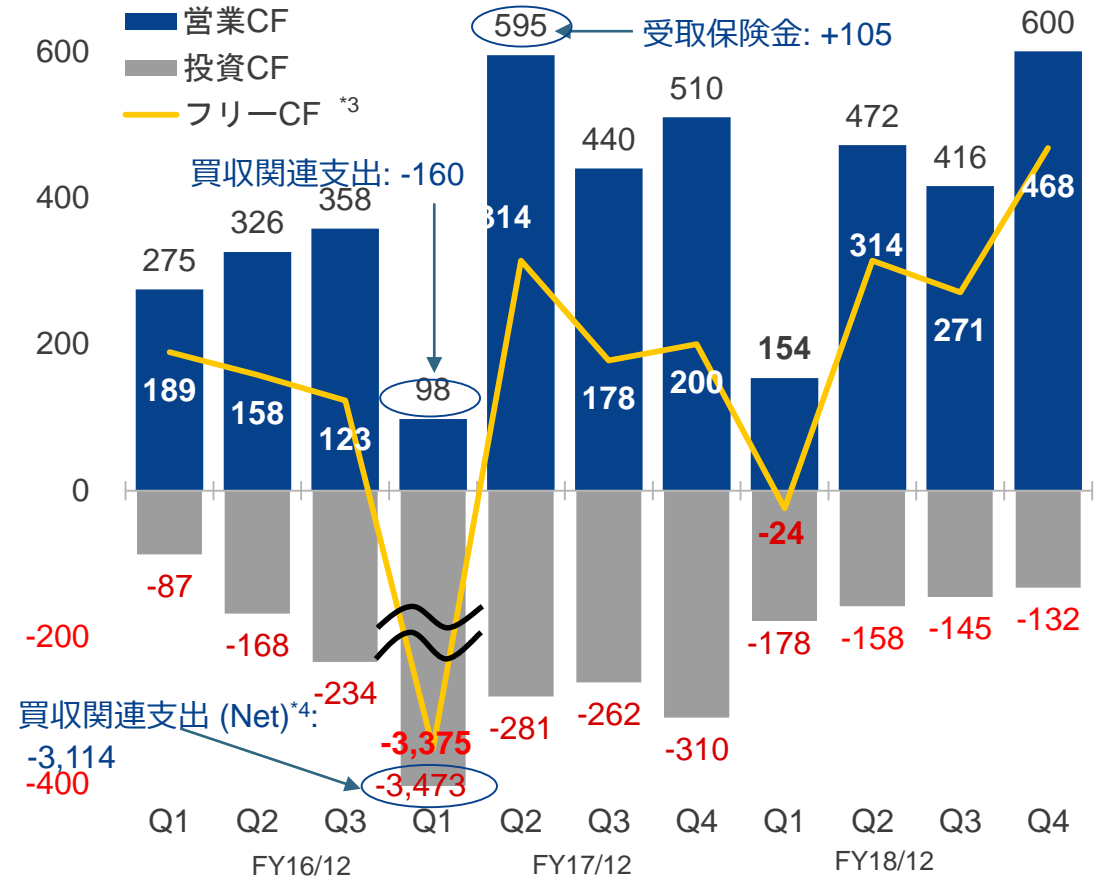
*4: 有利子負債/自己資本 *5: (有利子負債-現金及び現金同等物)/自己資本 *6: 「株主資本」+「その他の包括利益累計額」

EBITDA*¹およびキャッシュ・フローの状況*²

<EBITDA (億円)>



<キャッシュ・フロー (億円)>



*1: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額+のれん償却額

*2: 前連結会計年度末において、2017年2月24日付で完了したインターシル社との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

*3: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

*4: インターシル社株式の取得費用と2017年2月24日時点のインターシル社の現預金残高の合計

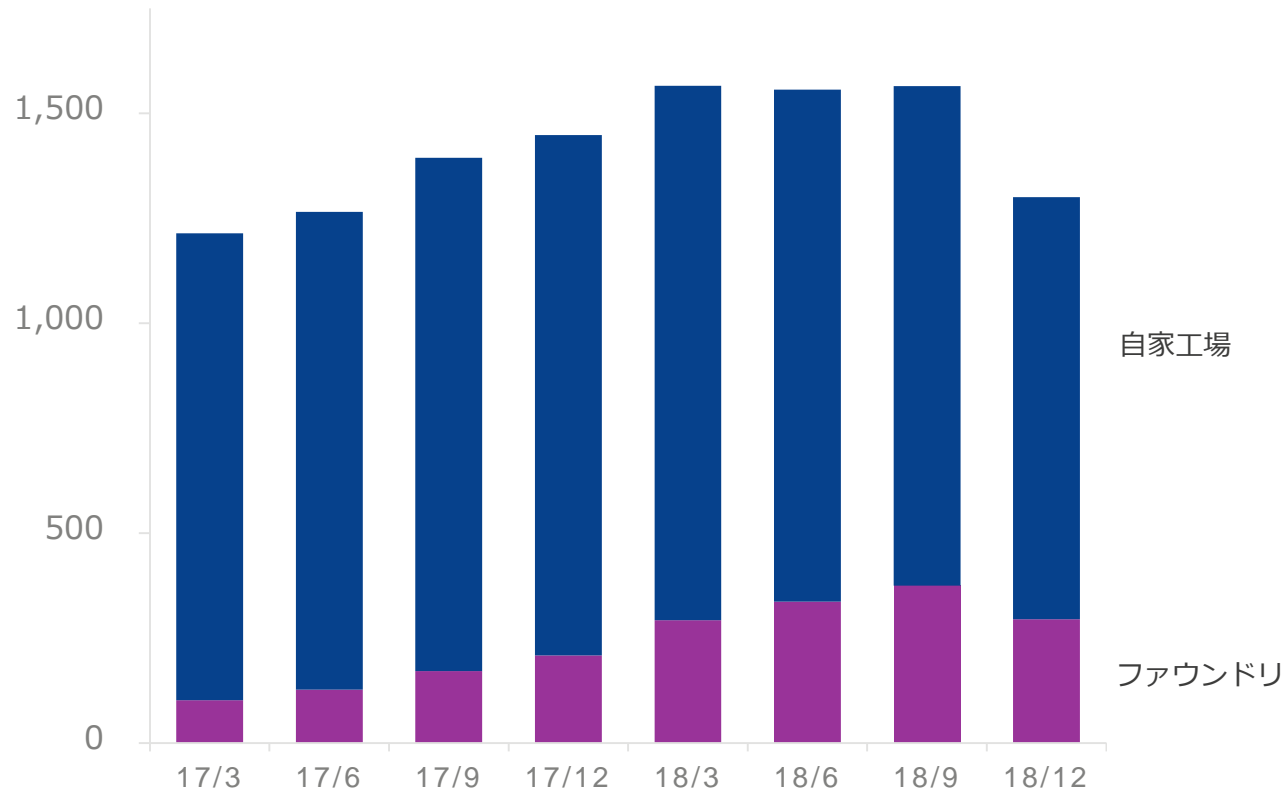
その他参考情報

本パートでは、非財務情報をその他参考情報として掲載しています。

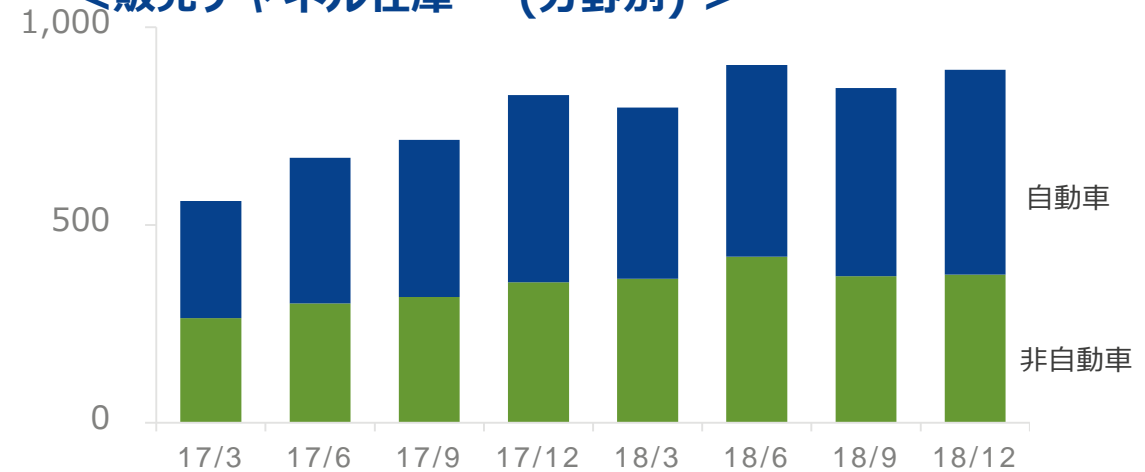
在庫状況

(管理会計ベース、億円)

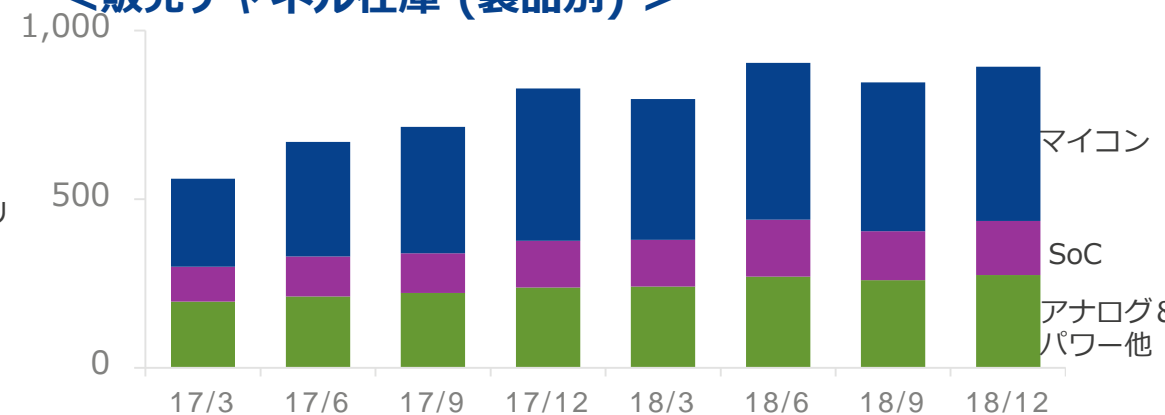
<当社在庫推移 (仕掛品 + 完成品)>



<販売チャネル在庫*1 (分野別)>



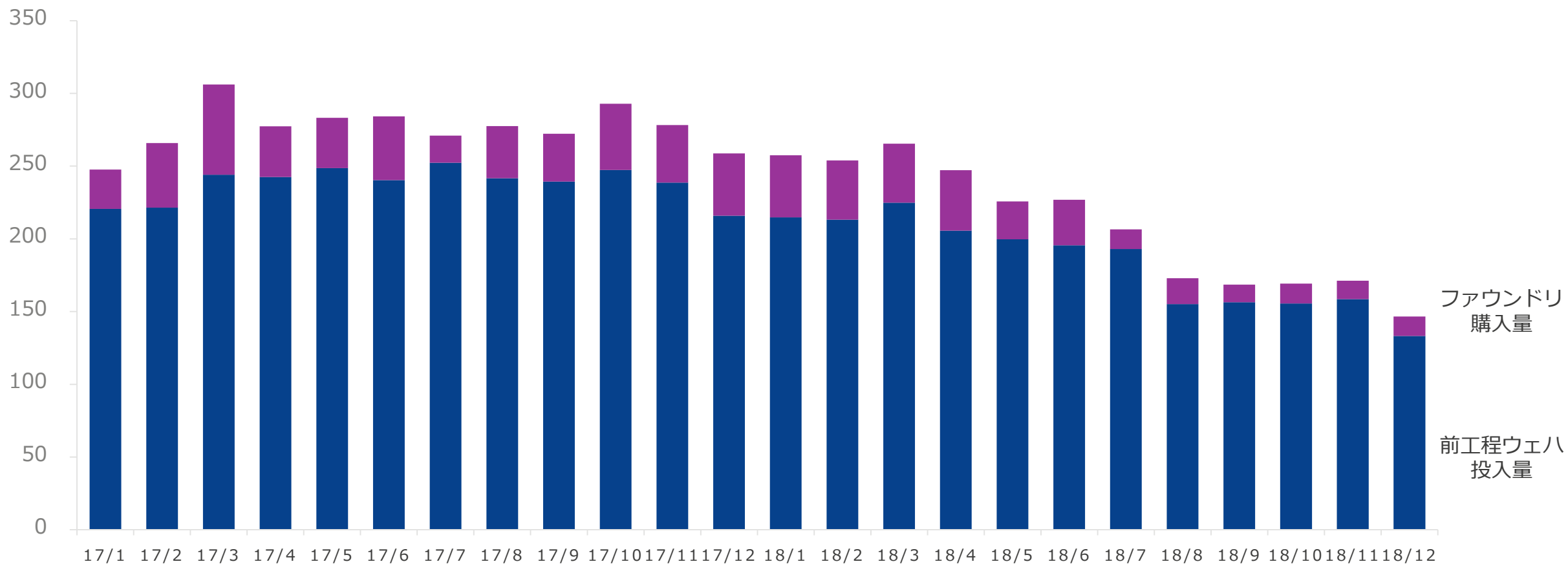
<販売チャネル在庫 (製品別)>



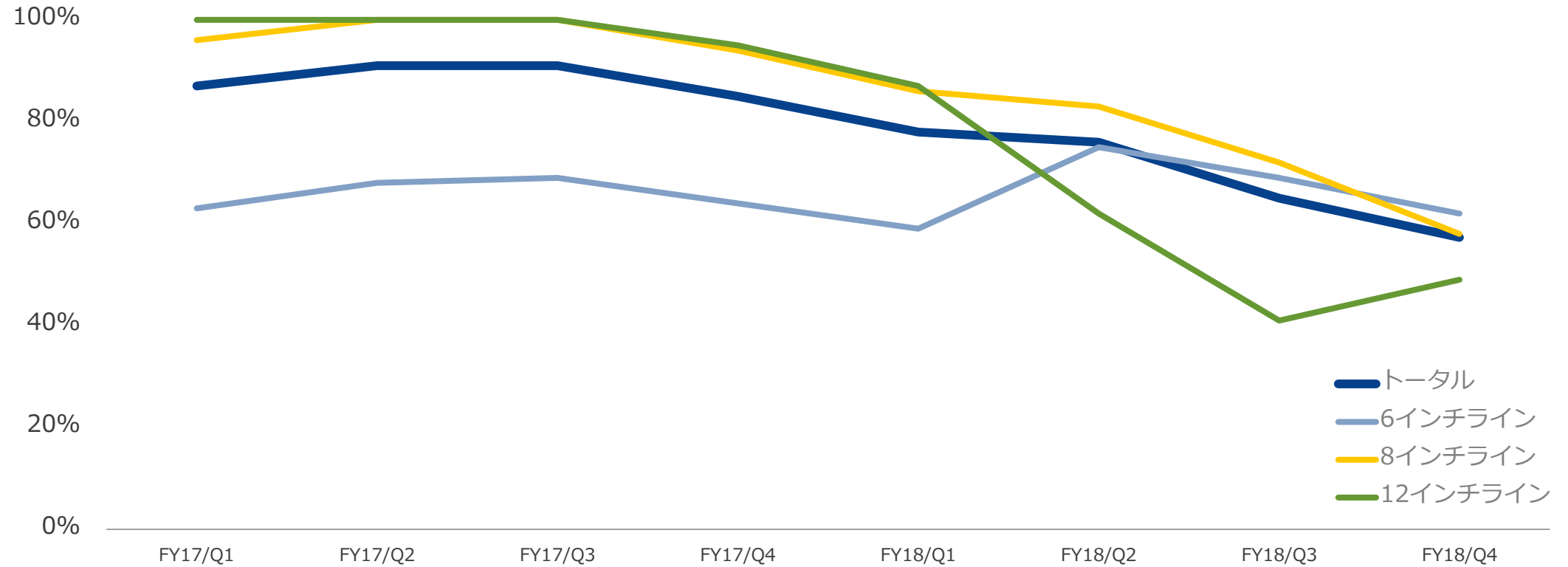
*1: 日系顧客向けの特約店16社の在庫総量

前工程ウェハ投入量および ファウンドリ購入量月別推移 (8インチ換算)

<千枚/月>



前工程稼働率四半期推移 (ウェハ投入量ベース)



BIG IDEAS FOR EVERY SPACE

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1) ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2) 市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、

(4) 為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。